

2 取り付け

取り付け場所

こんな取り付け場所はお避けください。

- ・運転の妨げになる所
- ・同乗者の安全を損なう所
- ・グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所
- ・ほこりの多い所
- ・磁気を帯びた所
- ・直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- ・雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

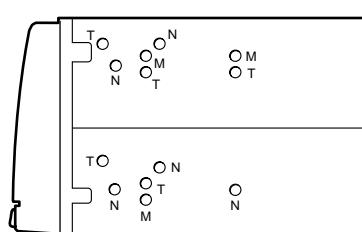
トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、その後に本機を取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。お車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

取り付け角度

水平から+20度以内で取り付けてください。20度以上傾けて取り付けると、CDの音飛びなどの原因となります。

ご注意

純正ブラケットを本機に取り付けるとき、本機側面に刻印されているT(トヨタ車用) M(三菱車用) N(日産車用)マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ①または②で取り付けてください。



1 純正カーオーディオを取り外す。

センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取り外します。(取り外しかたが分からぬ場合は、この「取り付けと接続」オモテ面に記載されているソニーFAXインフォメーションサービスなどをご利用ください。)

2 本機を取り付ける。

カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

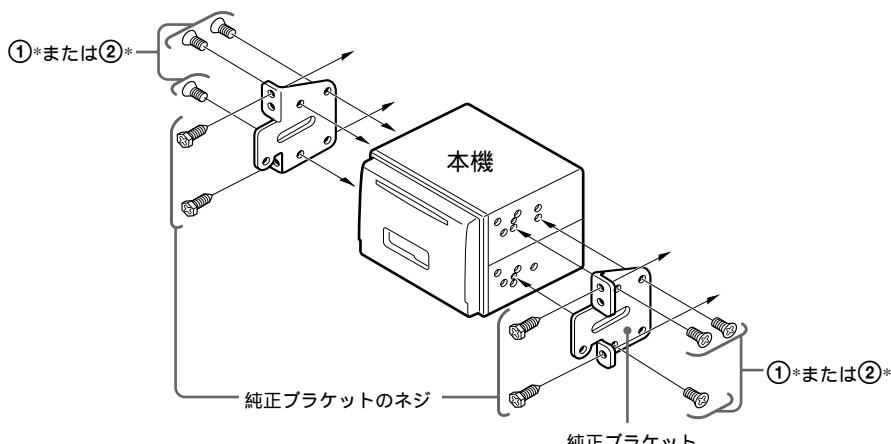
ご注意

- ・本機のフロントパネルの表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- ・本機の上部に物をはさみ込まないでください。

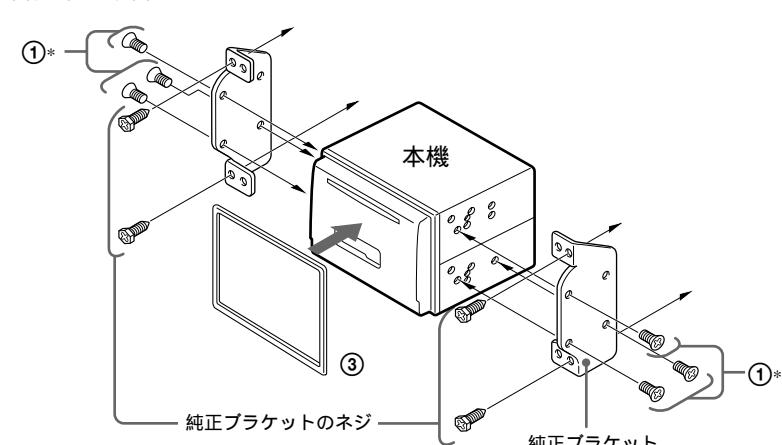
トヨタ車/三菱車の場合

(イラストはトヨタ車の場合)

- ①と②のネジは取り付ける車両により使い分けてください。
三菱車に本機を取り付ける場合は、②のネジをご使用ください。



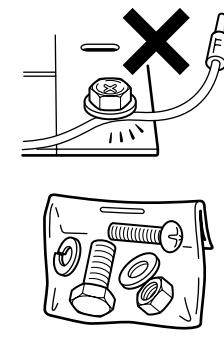
日産車の場合



* 付属の皿ネジ①またはトラスネジ②で取り付けてください。
他のネジを使用すると故障の原因となります。
また、車両側の純正ブラケットを通さず、本体に直接ネジを締め付けると故障の原因になります。

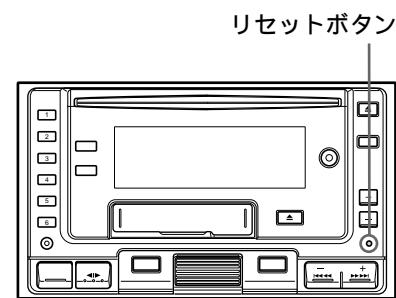
ビス・ナット類

- 必ず付属のビス類をお使いください。
- ビスやナットを締めるとき、他の配線を噛みこまないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- 外したビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- 外すビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。



3 取り付けと接続が終わったら

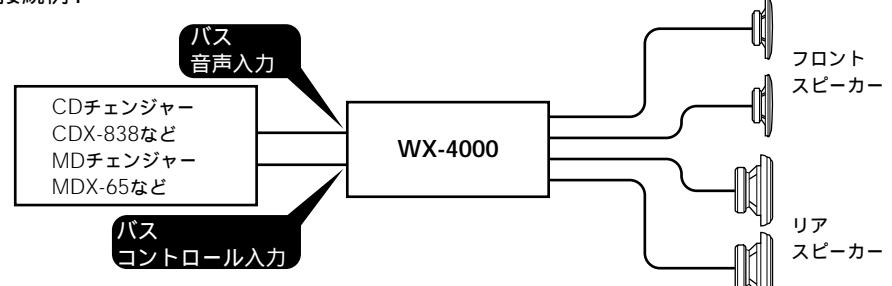
- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことをお確かめください。
- 必ず、本体にあるリセットボタンをつま楊子の先などで押してください。ただし針のようなもので強く押すと故障の原因となります。
- リセットボタンを押してから10秒間はCDおよびテープを入れないでください。リセットされないことがあります。その場合は、もう一度リセットボタンを押してください。



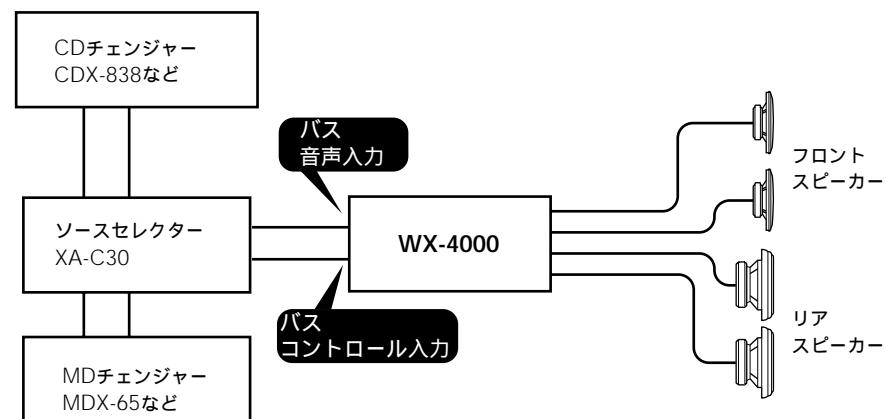
システム接続例

2台以上のチェンジャーを接続する場合は別売りのソースセレクターXA-C30が必要です。

接続例1



接続例2



⚠ 警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。



SONY®

チェンジャーコントロール オーディオマスター

取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この「取り付けと接続」と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

WX-4000

Sony Corporation © 2000 Printed in Japan

取り付け / 接続部品(付属)

①



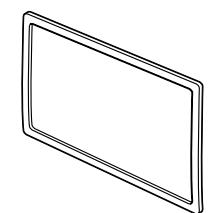
④
④ K5×8
(x6)

②



③
④ T5×8
(x6)

③



日産車用プレート



電源コード

この「取り付けと接続」に記載されている取り付け、接続先の機器は全て別売品です。ただし、付属品は除きます。

ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内(FAX付電話でご利用になれます)

カーフィッティングFAXサービス 車両メーカー、車種・車輌形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料

- ① インデックスの入手 / 03-3552-7209 車両メーカー別のBOX番号を受信
② 資料請求 / 03-3552-7488 アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。
・ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。
・FAXサービスのメンテナンス日は毎月第2木曜日 午前8:00~午後11:00となっております。ご迷惑をおかけしますが、當日前記時間帯は資料を取り出することはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)

24時間
お手元のFAXで
資料が取り出せます

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHSでのご利用は... 03-5448-3311
● Fax 0466-31-2595

受付時間: 月~金 9:00~20:00、土・日・祝日 9:00~17:00

保証期間中の操作や取り付け・接続、故障に関するお問い合わせは

テクニカルインフォメーションセンターへ
(モービルエレクトロニクス専用)
0120-64-0131(フリーダイヤル)

この説明書は再生紙を使用しています。



* 1 - 3 - 0 4 8 - 5 3 3 - 0 2 * (1)

⚠ 警告



下記の注意を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

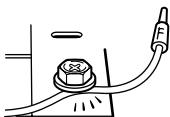
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業をすると、バッテリー上がりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。



⚠ 注意

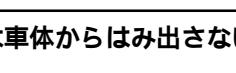
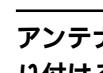
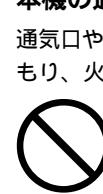
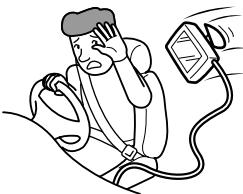
下記の注意を守らないとけがをしたり
自動車に損害を与えることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



アンテナは車体からはみ出さないよう取り付ける

歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



1 接続

必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

別売り品の仕様についてはカタログまたはお買い上げ店にご相談ください。

ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因になります。

電源配線についてのご注意

車種によって車両側の配線が細い(電流容量不足)ため、エンジンアイドリング時にライトやエアコンを動作させると、正常に動作しないことがあります。この場合は、電源コードRC-39を使って電源配線することをおすすめします。

純正アンテナブースターの接続

車種(リアまたはサイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合)によつては、純正アンテナブースターに電源供給コード(車両側)に接続する必要があります。この場合はパワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリー電源(赤色)を接続してください。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。

パワーアンテナをお使いになる場合

本機裏面から出ている青色コードをパワーアンテナ(リレーボックス付き)に接続してお使いになると、次のようなときにパワーアンテナが自動的に出ます。

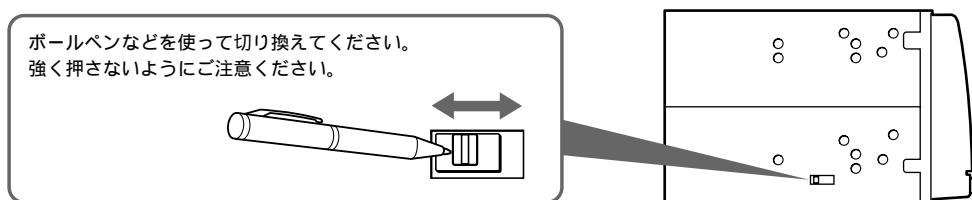
- SOURCEボタンを押してラジオ受信にしたとき
- TIボタンを押して道路交通情報を受信させたとき
- ATA機能を動作させたとき

初期設定が必要なスイッチ

アクセサリーポジションのない車でお使いになる場合

パワーセレクトスイッチ

必ず本機側面にあるパワーセレクトスイッチを①の位置に合わせてください。本機のOFFボタンを押したときに、ボタンが点灯しないようにすることができます。また、赤色の電源コードは黄色コードと同じところ(バッテリー電源)へ接続してください。



スイッチを切り換えたときは電源の接続をしたあとに、必ずリセットボタンを押してください。

スピーカー

- スピーカーを接続する前に、必ず本機の電源をOFFにしてください。
- インピーダンス4~8Ωのスピーカーをお使いください。
- 充分な許容入力を持つスピーカーをお使いください。許容入力の小さいスピーカーを使って音量を上げると、スピーカーを破損することがあります。
- スピーカーの+、-端子を車のシャーシなどに接続しないでください。故障の原因になります。
- 本機のスピーカーコードどうしを接続しないでください。特に+端子どうし、-端子どうしを接続すると、故障の原因になります。
- 既設の純正スピーカーコードを使う場合、左右のスピーカーコードの-側が共通になっているものは使用できません。そのまま使うと故障の原因になります。
- 本機のスピーカーコードにスピーカーを接続しない場合は、コードには何も接続しないでください。故障の原因となります。
- 本機のスピーカー出力にアクティブスピーカー(アンプ内蔵スピーカー)を接続すると、本機を破損するおそれがあります。アクティブスピーカーの使用を避け、通常のスピーカーをお使いください。

ヒューズ

- 本体の後面にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。
- 本機の黄色コード(バッテリー電源入力コード)を接続する前に、本機のヒューズ容量が車両側のヒューズ容量(ラジオまたはオーディオ電源)以下であることを確認してください。判断が難しい場合はお買い上げ店にご相談ください。

